

【ご質問】

本大学では、獣医保健看護学類開設以来、10年にわたり授精師の資格を取得できるようにしています。毎年3~5名の授精師資格をもった動物看護師が農業共済組合や農協の家畜診療所などに就職しています。授精師として入職後、動物看護師業務（診療補助）に従事しているケースも多くあります。今後は適正飼養分野での活躍も期待できます。国家試験に家畜関連の問題が毎年出題されるなか、そろそろ「愛玩動物看護師」の資格を「動物看護師」へ名称変更するための議論が必要だと感じていますが、どのようにお考えでしょうか。

【回答】

環境省として回答いたします。

動物愛護及び適正飼養分野での活躍のニーズは高まってきていると認識しております。愛玩動物看護師については、農林水産省と連携し、令和9年度を目途に「愛玩動物看護師制度のあり方」に関する取りまとめを予定しており、獣医事審議会免許部会・中央環境審議会動物愛護部会愛玩動物看護師小委員会（合同会合）における議論では、有識者から愛玩動物看護師の対象範囲等に関する意見もいただいております。引き続き、様々な意見等を踏まえ、制度のあり方に関する検討を進めてまいります。



【ご質問】

現在、愛玩動物看護師として地方公務員になる道をつくることはできません（一般職であれば可能）。公務員になることが、適正飼養分野での活躍のためは必須だと考えています。以前、都道府県職員と当大学執行部らで、愛玩動物看護師の採用に向けての話し合いが実施された経緯があります。しかし、「動物愛護センターの勤務は問題ないが、その後の異動先がないので募集は困難」と伝えられています。公務員への職域の広がり、動物看護師の地位向上には欠かせないと考えています。家畜保健所での検査業務や野生動物関連の業務は、カリキュラム上可能だと思いますが、ここでも「愛玩」の名称問題が指摘されてしまいます。「動物看護師」への名称変更、および、公務員へ職域を広げるための議論を真剣に取り組む時期にあると思いますが、いかがでしょうか。

【回答】

環境省として回答いたします。

自治体等においては異動先の確保等の問題から、愛玩動物看護師を正規職員として配置することに課題があることを承知しております。一方で、愛玩動物看護師への期待や活躍の場は広がっており、実際に資格を持ちながら公務員として活躍されている方もいらっしゃいます。愛玩動物看護師が多様な場面で活躍いただけるよう、令和9年度を目途に予定している「愛玩動物看護師制度のあり方」の取りまとめに向けて、農林水産省と連携し、様々な意見等を踏まえ検討を進めてまいります。

